

事務事業実績測定調査

R5調書番号 22

事務事業名称	下水道開発指導事務									
測定年度	2023(R5)年度		部	上下水道部			課	下水道管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	1.災害に対する備えができているまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	1974(S49)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	下水道法、都市計画法、建築基準法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	開発行為等により、下水道施設の整備を行う市民、事業者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	事業者が資金面等から整備（雨水流出抑制施設等）が困難な場合がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	関係法令、条例等を遵守し、下水道整備が行われ、良好なまちが形成されている状態。				
事業概要	都市計画法、枚方市開発事業等の手続等に関する条例等を遵守させることにより地域の特性を生かした下水道の整備を図り、良好なまちづくりに寄与する。 開発協議、宅地造成協議、建築確認等の申請に係る審査、指導事務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）			
						下水道整備が行われ、良好なまちが形成される。				開発行為等により、下水道施設の整備を行う市民、事業者が都市計画法、枚方市開発事業等の手続等を行う。			
指標設定	指標説明					開発協議、宅地造成協議完了件数				開発協議、宅地造成協議件数			
	単位		件		単位		件						
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 （見込み）					400	370	340	310	730	370	340
実績						350	242	251	252	350	242	251	252
達成度						81%				81%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	3.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	18,857	18,749	26,843		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	18,857	18,749	26,843		
	物件費計	21	0	0	33	0.0%
歳出計		18,878	18,749	26,843		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		21	0	0	33	

5. 総括的分析

総括的分析	開発申請件数は、申請者側に起因するものであって、目標値設定は非常に困難である。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、事務手続きの円滑な執行に努めていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 23

事務事業名称	下水道台帳補正業務									
測定年度	2023(R5)年度			部	上下水道部			課	下水道管理課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	1.災害に対する備えができているまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	1984(S59)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	下水道法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市が管理する下水道施設を調査・利用する市民、事業者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	下水道施設の正確な情報をもとに適正な施設利用を行う必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	利用者が、正確な下水道施設情報を利用できる状態。				
事業概要	前年度の公共下水道整備箇所等における下水道台帳の追加・削除による更新を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			公共下水道台帳が整備される。				前年度の公共下水道整備箇所等における下水道台帳の追加・削除による更新を行う。			
指標設定	指標説明		市域内の公共下水道台帳整備面積の確定(累計)				市域内の公共下水道整備面積(累計)			
			単位				単位			
			ha				ha			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		3,458	3,461	3,464	3,467	3,455	3,458	3,461	3,464
	実績		3,458	3,462	3,472	3,480	3,462	3,472	3,480	3,491
	達成度		100%				101%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.62
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,242	11,111	7,895		
	会計年度任用職員	207	1,206	1,210		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	11,449	12,317	9,105		
歳入	物件費計	15,714	14,439	14,098	19,804	71.2%
	歳出計	27,163	26,756	23,203		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		15,714	14,439	14,098	19,804	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度	
	下水道施設情報管理システムデータ更新業務測量委託	3,946,140円
	上下水道施設情報管理システム保守業務委託	6,657,200円
	枚方市上下水道施設情報管理システム機器賃貸借	3,494,700円

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	前年度に公共工事や民間開発等により設置・撤去された下水道施設について、下水道台帳データの更新を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 31

事務事業名称	下水道施設・水路占用事務									
測定年度	2023(R5)年度		部	上下水道部			課	下水道管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	1.災害に対する備えができているまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務		区分	一般内部管理事務	
事業期間	2011 (H23) 年度		年度	～	年度まで		
根拠法令等	下水道法						
関係補助金名称				サンセット		～	
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	本市が管理する水路等に隣接する土地所有者。					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	公の土地である水路等の占用については許可を受けて使用する必要があるが、許可を受けずに使用している場合がある。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	不法占用等がなく、水路等の施設を適正に維持管理できている状態。						
事業概要	水路の占用許可及び占用料の徴収 国、府の管理する水路等の占用許可の経由事務						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						水路の占用許可等関係事務について、適正に処理を行う。				水路の占用許可等関係事務を処理する。					
指標設定	指標説明					下水道用地の占用許可、施工承認の許可件数				水路の占用許可等関係事務の申請受付件数					
			単位	件			単位	件							
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標								
	指標数値							R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)						207	210	220	230	220	210	220	230
実績						180	175	148	132	180	174	148	132		
達成度						57%				57%					

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						苦情に対する対応を行う				水路に関する苦情を受ける			
指標 設定 ②	指標説明					苦情に対応した件数				苦情を受けた件数			
							単位	件			単位	件	
	指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					20	30	20	10	20	30	20	10
	実績					20	30	20	10	20	30	20	10
達成度						100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.45
再任用	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	17,366	17,873	16,486		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	17,366	17,873	16,486		
	物件費計	1,689	1,662	1,658	1,860	89.1%
歳出計		19,055	19,535	18,144		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	1,660	1,838	1,868	1,892	
	市債	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	その他	33,347	33,593	33,953	33,675	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	35,007	35,431	35,821	35,567	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	水路占用申請件数は、申請者側に起因するものであって、目標値設定は非常に困難である。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、事務手続きの円滑な執行に努めていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 32

事務事業名称	下水道施設・水路等境界明示事務									
測定年度	2023(R5)年度		部	上下水道部			課	下水道管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	1.災害に対する備えができていくまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2011 (H23) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	下水道法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市が管理する水路等に隣接する土地所有者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	境界確定に際しては、原則、隣地所有者や水路等の対側地所有者の同意が必要であるが、同意が得れずに不調となる場合がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	境界確定に基づき適正な維持管理が行える状態。				
事業概要	本市が管理する水路に隣接する土地所有者からの申請に基づき、その土地と水路等の境界について、双方現地立会で境界線の位置について協議の上定める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			双方現地立会で境界線の位置について協議の上定める。				境界明示申請を受け付ける。			
指標設定	指標説明		新規明示件数・既明示証明申請確定件数				新規明示件数・既明示証明申請件数			
			単位 件				単位 件			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		20	40	50	60	30	40	50	60
	実績		32	100	107	108	55	100	107	108
達成度			180%				180%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.35
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	15,552	18,358	18,553		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	15,552	18,358	18,553		
	物件費計	5	8	4	2,126	0.2%
歳出計		15,557	18,366	18,557		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		5	8	4	2,126	

5. 総括的分析

総括的分析	水路明示件数は、申請者側に起因するものであって、目標値設定は非常に困難である。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、事務手続きの円滑な執行に努めていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 147

事務事業名称	水洗便所改造資金補助事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	上下水道部			課	下水道管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1972(S47)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	下水道法、枚方市下水道条例 枚方市水洗便所等改造資金助成規程				
関係補助金名称	水洗便所等改造資金補助金(下水道事業会計)		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公共下水道供用開始区域内で、し尿及び雑排水を公共下水道に直接排除できるようにする工事をしようとする市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	公共下水道供用開始区域については、3年以内にし尿及び雑排水を公共下水道に直接排除するよう敷地内の排水設備工事を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	し尿及び雑排水を公共下水道に直接排除できるようにする工事をしようとする市民に対し、必要な資金の一部を補助すること及び融資あっせんを行い水洗化の促進が図れている状態。				
事業概要	し尿及び雑排水を公共下水道に直接排除できるようにする工事をしようとする者に対し、必要な資金の一部を補助すること及び融資あっせんすることにより水洗化の促進を進める。 公共下水道処理区域の供用開始から3年以内の改造工事に対し、資金補助を行う。また、工事資金の融資あっせんも行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
		市内の水洗化が図られる。				補助金交付に合わせて 水洗化改造工事が実施される。				公共下水道処理区域の供用開始 から3年以内の改造工事に対して 水洗便所等改造資金補助金を交付する。								
指標設定	指標説明		下水道供用開始区域(整備済区域)内の人口に対して、公共下水道に接続して水洗化した人口の割合(水洗化率) 【算出式:水洗化人口／処理人口×100】				補助金交付に合わせて、水洗化改造工事が実施された件数				水洗便所等改造資金補助金の交付件数							
			単位		%				単位		件				単位		件	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値	R2		R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5				
		目標 (見込み)		97	97	97	97	260	300	300	300	260	300	300	300			
		実績		97	97	97	97	477	261	206	98	477	261	206	98			
	達成度		100%				33%				33%							

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	5,500	5,468	4,737		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,500	5,468	4,737		
	物件費計	2,194	1,786	1,137	4,950	23.0%
歳出計		7,694	7,254	5,874		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		2,194	1,786	1,137	4,950	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度実績 補助金(件数:98件、戸数:98戸、補助金額1,136,500円) 融資あっせん(件数:4件、戸数:4戸、融資総額1,177,000円)
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	下水道普及率は97.8%(令和6年3月31日現在)となっており、今後、公共下水道を整備して供用開始する地域は減少していくものの、公平性の観点から、現段階では補助金は存続すべきものとする。しかし、事務経費等を踏まえ、補助制度を存続させるかどうか、定期的に検証を実施する必要がある。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 657

事務事業名称	公共下水道促進事務												
測定年度	2023(R5)年度			部	上下水道部				課	下水道管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2			R3			R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち											
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	下水道法、建築基準法、枚方市下水道条例、同条例施行規程				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公共下水道が整備された区域内に建物を所有する市民、事業者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	公共下水道が整備された区域内で水洗化改造工事猶予期間である3年を超えた未水洗建築物については、速やかに水洗化する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	水洗化を促進し、快適な生活環境と公共水域の水質の保全が図れる状態。				
事業概要	(1)水洗化促進業務・・・公共下水道が整備された区域内で、水洗化改造工事猶予期間である3年(くみ取りは下水道法、し尿浄化槽は下水道条例で定めている。)を超えた未水洗建築物に対し、戸別面談等を中心に指導・勧告等を行うことにより、水洗化率の向上を図る。 (2)排水設備計画確認申請書・・・下水道条例に基づき、水洗化に伴う工事(既設建築物・新築建物)の排水設備計画確認申請の設計審査及び工事完了検査を実施する。 (3)建築行為等に伴う事前協議等(枚方市開発事業等の手続等に関する条例第15条)・建築行為等に伴う事前協議に先立って必要となる協議等(同条例第16条、第17条第1項第(1)号)・・・合議行為(公共下水道整備区域内の新築建物に伴う排水指導等。) (4)行為の許可・・・市が管理している下水道への接続の許可及び寄付手続きに関すること。(下水道条例第34条)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市内の水洗化が図られる。				指導・勧告等を受けた市民が水洗化を図る。				水洗化改造工事猶予期間である3年を超えた未水洗建築物に対し、個別面談等により指導・勧告等を行う。			
指標設定	指標説明	下水道供用開始区域(整備済区域)内の人口に対して、公共下水道に接続して水洗化した人口の割合(水洗化率) 【算出式:水洗化人口／処理人口×100】				指導・勧告による水洗化促進実施戸数状況				戸別面談等による指導・勧告戸数			
		単位				単位				単位			
		%				戸				戸			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	97	97	97	97	120	120	120	120	900	900	900	900
達成度	実績	97	97	97	97	168	203	153	47	1,064	1,160	1,198	476
		100%				39%				53%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	4.40
再任用	1.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	44,945	47,116	42,295		
	会計年度任用職員	207	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	45,152	47,116	42,295		
	物件費計	2,416	2,085	2,534	2,823	89.8%
歳出計		47,568	49,201	44,829		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	3,836	3,828	3,323	4,605	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	3,836	3,828	3,323	4,605	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	(1) 水洗化促進業務・・・実態調査476戸 (2) 排水設備計画確認申請書等・・・1,218件、工事完了検査1,314件 (3) 建築行為等に伴う事前協議等・・・1,164件（建築確認 1,085件、開発手続条例第17条協議 79件） (4) 行為許可・・・172件 水洗化促進の取り組みでは、水洗化（改造）義務期限の3年を超過した下水道未水洗家屋（約4,200戸）の所有者に対して、平成30年度より5か年計画で水洗化工事を実施されるよう指導勧告を行ってきた。令和4年度で5か年計画を満了したが、計画期間中においても公共下水道整備は継続しており、新たに義務期限を超えた未水洗家屋が発生していることから、令和5年度は476戸の実態調査を行い、47戸の家屋で水洗化工事が実施された。（5か年間の計画期間に実施した実態調査区域を含めると1,829戸の家屋が水洗化済み）5か年計画の水洗化指導を満了し、今後はより効率的に水洗化促進を強力に進めていく。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も、引き続き義務期限を超過した未水洗家屋の実態調査、指導勧告を行い、水洗化率の向上に向けて取り組んでいくものである。 また、公共下水道に接続にあたっての排水設備等の指導を、引き続き適正に行うものである。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 658

事務事業名称	工場等届出規制指導事業(下水)									
測定年度	2023(R5)年度		部	上下水道部			課	下水道管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	下水道法、同法施行令、枚方市下水道条例、同条例施行規程				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	排除基準の遵守状況の確認対象となる工場、事業場等			
	サブターゲット	公共下水道を利用する利用者			
	ターゲットが抱える課題	工場、事業場等から基準に適合しない排除下水の下水道処理施設等への流入に伴い、処理施設等の機能保持が損なわれることにより施設の利用に支障が生じることになる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	法令に基づく手続きが適正になされるとともに、各事業所への立入等による指導、検査を行うことで水質基準が遵守され、下水道施設の機能の維持保全並びに適切な下水道終末処理施設における排水処理が可能となる状態。				
事業概要	・下水道関係法令に基づく申請、届出の受理 ・審査・事業所立入検査(採水を含む) ・排除基準違反工場等に対する基準遵守の指導				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						適切な審査の上、事業者が法令に基づく手続きや排除基準等を継続して遵守できる。				下水道関係法令に基づく申請、届出等を受理する。			
指標設定	指標説明					排除基準等を満足する工場・事業場の件数				下水道関係法令に基づく届出件数			
							単位	件			単位	件	
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					75	75	75	75	75	75	75	75
	実績					52	43	49	52	45	43	49	52
達成度						69%				69%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						適切な指導の上、排除基準に適合した施設が増える。				排除基準違反工場等に対し、基準遵守の指導を行う。			
指標設定②	指標説明					改善により排除基準を満足した工場・事業所等の件数				工場・事業所等の排除基準に関する違反等の件数			
							単位	件			単位	件	
	指標種類					増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					12	12	12	12	12	12	12	12
	実績					6	5	3	7	7	5	3	7
達成度						58%				142%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.70
再任用	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,071	7,812	6,030		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,071	7,812	6,030		
歳入	物件費計	736	722	711	1,453	48.9%
	歳出計	7,807	8,534	6,741		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		736	722	711	1,453	

5. 総括的分析

総括的分析	・下水道法令の届出の受理及び審査、現場確認を行った。届出に際し、必要に応じて、法令順守に関し届出指導や立入調査等を実施した。ペーパーレス化の観点から、引き続き、メールによる提出を受け付け、適切に対応した。 ・過去に採水基準違反等のあった工場・事業場に重点を置いた排水基準を確認し、基準値を超過した工場等に対し指導するとともに、適切な処理が行われたことを確認した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き届出規制指導を行うとともに、届出内容の現場での確認及び指導を重視する。事業者に対し、引き続き、メールによる提出に関し啓発し、ペーパーレス化に努める。排水基準の違反があった場合の文書による是正指導及び現場確認を継続する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 916

事務事業名称	下水道管理課運営事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	上下水道部			課	下水道管理課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外								
	施策目標	99.施策体系外								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	連絡・調整を行う他部局			
	サブターゲット	自治事務を信託している市民			
	ターゲットが抱える課題	組織間の連携や課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	他部局との連絡・調整を行うことにより、組織としての機能を適正かつ効率的に発揮できる状態。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値	目標 (見込み)				目標				目標			
		実績				実績				実績			
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.30
再任用	0.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	18,857	19,530	19,166		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	18,857	19,530	19,166		
	物件費計	42,955	42,914	39,645	33,936	116.8%
歳出計		61,812	62,444	58,811		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	827	1,362	420	874	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	827	1,362	420	874	
一般財源（物件費に充当されるもの）		42,128	41,552	39,225	33,062	

5. 総括的分析

総括的分析	所管事務に係る他部局との連絡調整、各種庶務事務を適正に執行した。
-------	----------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、課内事務手続きの円滑な執行に努めていく。